

【重点分野－3】2020年7月の連合本部緊急LINE労働相談 結果報告

連合本部では7月17日（金）に、新型コロナウイルス感染症の影響により解雇や退職強要、契約打ち切りなど雇用の悪化が懸念される中、「突然の解雇・雇止め（契約打ち切り）に泣き寝入りしないで」をテーマに無料通信アプリ「LINE」による緊急労働相談を実施した。

I. 実施日時：2020年7月17日（金） 10～17時（最終受付16時30分）

II. 場 所：連合本部6階 フェアワーク推進センター

III. 相談対応

1. 対応相談員：11名（連合本部スタッフ10名、中央アドバイザー1名）
2. 相談体制：無料通信アプリ「LINE」（期間限定）

IV. 相談件数：107件

V. 相談概況：

<事前のPRについて>

無料通信アプリ「LINE」による労働相談の実施にあたり、連合ホームページ、Facebook、Twitterなど、各種広報媒体を活用し、事前にLINE@へお友だち登録を呼びかけた。

<属性>

年代別では、40代の相談者が約34%、30代の相談者が約30%、性別では女性が約64%、雇用形態別では正社員が約59%を占めた。

<主な内容>

。相談内容別では「雇用関係（休業補償や解雇・退職強要・契約打ち切りなど）」がトップで22%、次いで「差別（パワハラ、嫌がらせなど）」が21%という結果となった。相談内容には複合的な要素が含まれており、退職強要をパワハラという形とするケースもあった。また先行きの雇用への不安の声が寄せられた。

以 上

■□■□■ 寄せられた主な相談内容 ■□■□■

■雇用関係

- イベント業界で勤務。3月以降、仕事がキャンセルになり、6月までは給与は全額支払われているが7～9月の休業補償は減額予定。9月以降、雇用調整助成金の給付がなくなった場合、解雇（会社縮小のため大幅リストラ）を予告されている。（正社員・女性・40代・その他サービス／東京）
- 無期雇用派遣で働いているが、派遣元に次が見つかりそうもないので、自身でも仕事を探してくれと言われた。このまま解雇されるのかと不安。（派遣社員・男性・40代・その他サービス／京都）
- 無給で休職中の妊婦。先日、職場へ休業補償を申請してもらえないか問い合わせたら、退職をすすめられた。職場からは「育休が明けてコロナが落ち着いているかわからない。それでも復帰できるのか？それなら一度辞めて働けそうだったら再雇用という形をとる」と言われた。（正社員・女性・20代・医療・福祉／大阪）

■差別等

- 上司から毎日パワハラを受け、私は精神的に病み、胃痛、血尿が発生。数ヶ月後会社の上司から呼び出され話し合いと言う名の解雇宣告。ありもしない出来事を私の責任し「私が人をイジメてる。私が居るから空気が悪くなる。最終的には「貴方が何処かへ行けばいい」と言われた。（正社員・女性・30代・製造業／東京）
- 職場の上司からのパワハラ。草抜きを毎日15:00から60分間させられる。自分の仕事は雑用で、全部署に自分の仕事内容や注意喚起が貼り出されている。（正社員・女性・20代・医療・福祉／岡山）
- 業務にかこつけて所長が職権乱用の陰湿な嫌がらせをする。他の同僚が社内の通報窓口に訴えたが、所長を異動させる等の対処はなく、通報者が判明してしまうだけであった。（パート・女性・50代・電気・ガス・熱供給・水道業／栃木）

■労働契約関係

- 異動で降格を命じられたが、事前の聞き取り、組合への通告などが一切なかった。直属の上司もその件を知らなかった。会社の規定でも面談をし、組合へ通達の後人事が行われることになっている。コロナの影響で仕方ないとの説明があったのみ。（正社員・男性・50代・製造業／栃木）
- 2年前、有期パートから無期パートになったが、シフトを減らされ、社会保険の適用除外とされた。新たな雇用契約書への押印は無理強いされたものであり、納得していない。（パート・女性・30代・製造業／福島）

以上